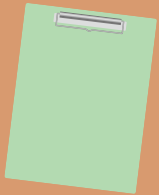


# れきはくワークシート チャレンジ!

## 持ち物



▲えんぴつ



▲ボード

常設展示室に展示されている資料について、ワーク(作業)をしながら、観察してみましょう。

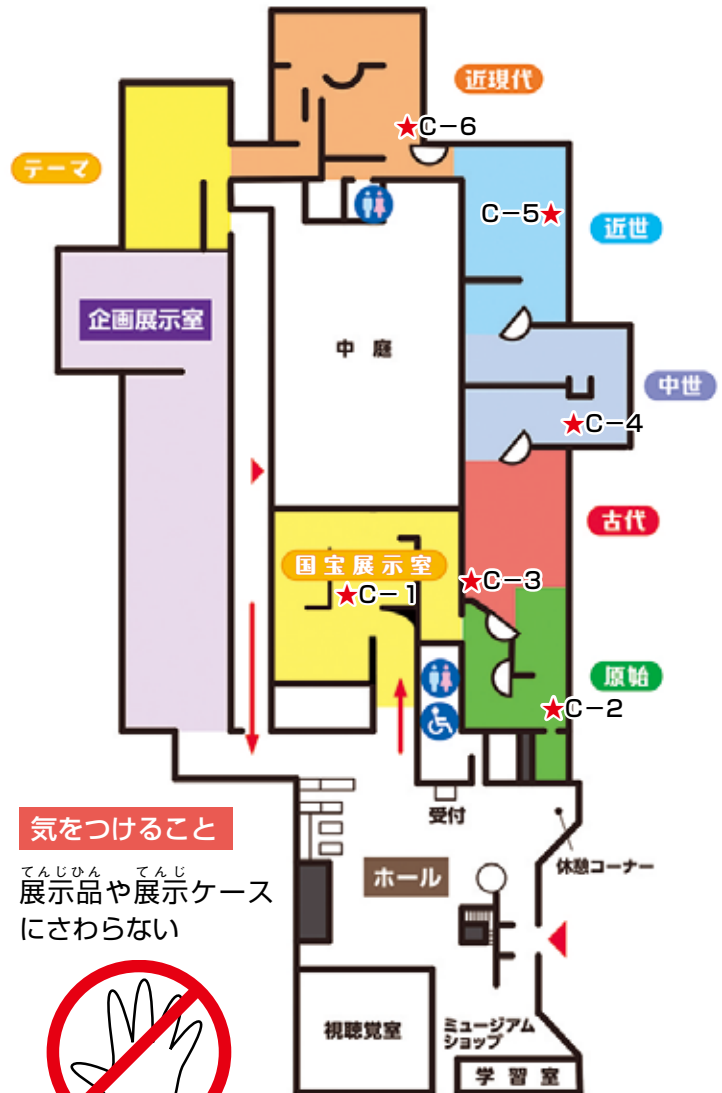
①右の地図の★印の場所に行き、資料をさがしましょう。

②問題に挑戦して、「気づいたこと」を記入しましょう。

③ほかの資料も見ながら、次の資料をさがしましょう。

④他のコースの人と、意見交流をしてみましょう。

## 館内MAP



学校

名前

★資料カード (C - 1) こくほうてんじしつ きんいろ へや  
 国宝展示室 (金色の部屋)

資料名	はにわ れんざ さんになんどうじょ 埴輪 連座する三人童女		
時代	こぶん 古墳時代	地域	たかさきし 高崎市

かんのんやまこぶん しゅつど はにわ れんざ さんになんどうじょ  
 観音山古墳から出土した埴輪「連座する三人童女」を見つけましょう。  
 一つの台座だいざの上で、三人が同じポーズをしています。  
 どのポーズでしょうか？



①



②

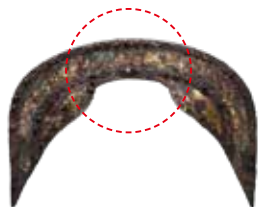


③



さが かん かんが  
 探そう、感じよう、考えよう

ほか 他にもきらびやかな副葬品ふくそうひんがたくさん出土しました。

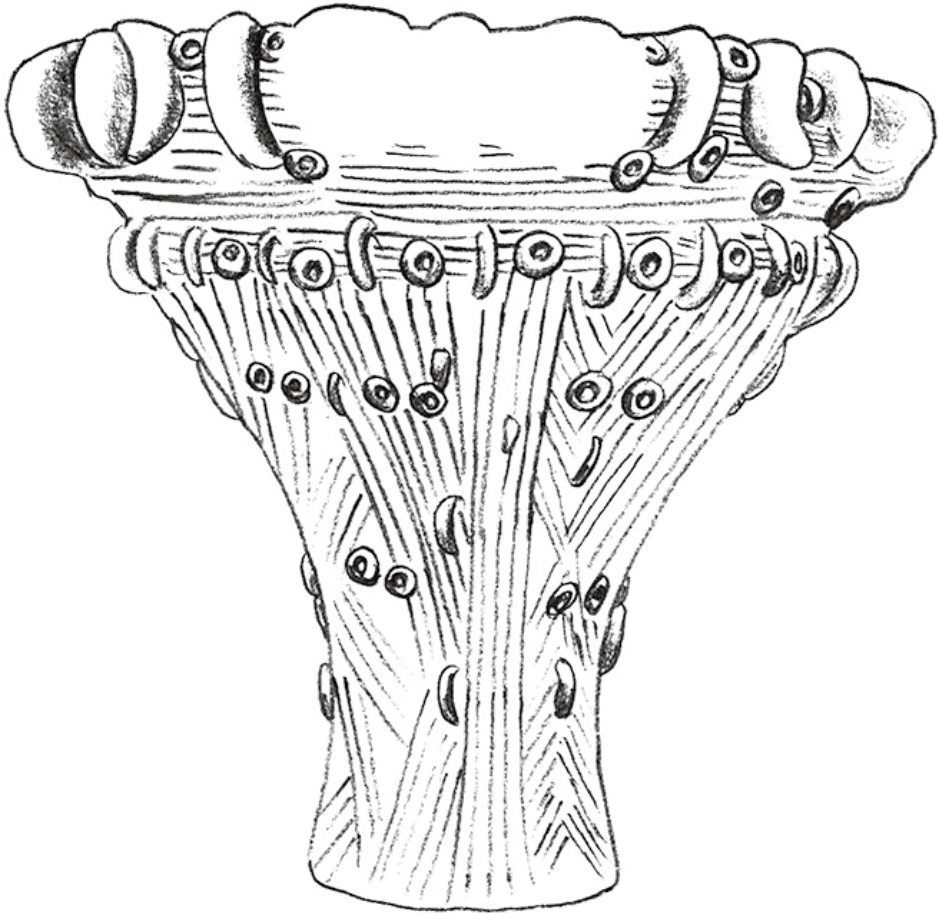


このベルトには鈴すずがついていますね。  
 鈴すずのついている埴輪はにわもあります。探してみよう。

★資料カード (C - 2) <sup>げんしてんじしつ</sup>原始展示室 <sup>みどりいろ</sup>(<sup>へや</sup>緑色の部屋)

資料名	ふか ばち 深 鉢		
時代	<sup>じょうもん</sup> 縄文時代	地域	<sup>しょうわむら</sup> 昭和村

<sup>じょうもんとき</sup>縄文土器です。  
<sup>た</sup>足りない部分を描いてみましょう。



<sup>さが</sup>探そう、<sup>かん</sup>感じよう、<sup>かんが</sup>考えよう

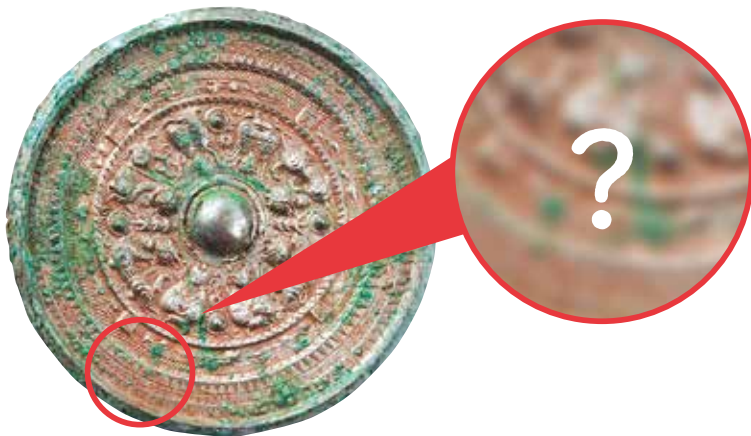
<sup>じょうもんじだい</sup>「縄文時代の暮らし」と<sup>やよいじだい</sup>「弥生時代の暮らし」2つの暮らしぶりを<sup>くら</sup>比べて<sup>み</sup>見てみよう。どっちが<sup>す</sup>好き？



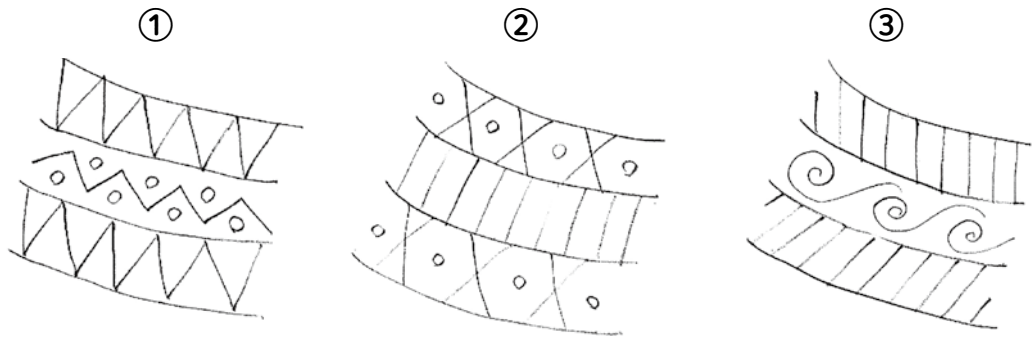
しゃがんで見ると  
楽しいよ

資料名	<small>かわいいなりやまこぶん</small> <small>さんかくぶちしんじゅうきょう</small> <b>川井稻荷山古墳の三角縁神獣鏡</b>		
時代	古墳時代	地域	たまむらまち 玉村町

さんかくぶちしんじゅうきょう 「三角縁神獣鏡」と呼ばれている銅鏡です。  
おうけん ヤマト王権から地方の有力者に配られたと考えられています。  
かんとう 関東より北では、ぐんまけん 群馬県で最も多く出土しています。  
どうきょう



かがみ 鏡をよく見てみましょう。  
 ○で囲んだあたりの模様は  
かこ 次のうちどれでしょうか。  
もよう



さが 探そう、かん 感じよう、かんが 考えよう

これらは全て古代の部屋にあります。この中で自分の家に飾りたいのはどれ？



資料名	せきぞうふどうみょうおうりつぞう <sup>ふくせい</sup> 石造不動明王立像 (複製)		
時代	<sup>かまくら</sup> 鎌倉時代	地域	<sup>しぶかわし</sup> 渋川市

<sup>かまくらじだい</sup> これは鎌倉時代に石でつくられた仏像です。  
<sup>じつぶつ</sup> <sup>どう</sup> 実物は洞くつの中にあり、年に1度だけ見ることができます。  
<sup>ふどうみょうおう</sup> 不動明王は、人々が道をふみはずさないように怒りの表情をしています。  
<sup>あらわ</sup> <sup>ぶぶん</sup> それを表している口の部分をスケッチしてみましょう。



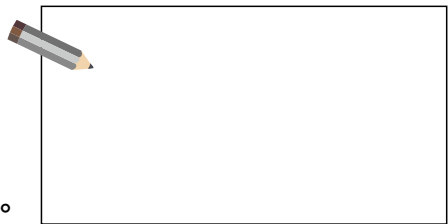
<sup>さが</sup> 探そう、<sup>かん</sup> 感じよう、<sup>かんが</sup> 考えよう

<sup>にったよしさだ</sup> これは新田義貞の  
<sup>かおう</sup> 花押(サイン)です。



<sup>へや</sup> <sup>ほか</sup> <sup>かおう</sup> この部屋には他にも花押があります。

自分の花押(サイン)をつくってみよう。



資料名	( )		
時代	<sup>えど</sup> 江戸時代	地域	

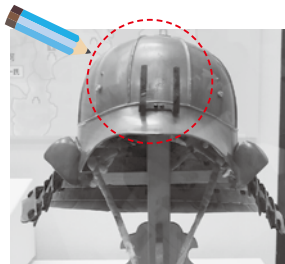
<sup>えど</sup> 江戸時代になると、道が<sup>せいび</sup>整備され、<sup>へいわ</sup>平和になったことから  
多くの人やものが<sup>いどう</sup>移動するようになりました。



これは、<sup>たび</sup>旅をした人が持っていた<sup>はこ</sup>箱です。  
<sup>さいふ</sup>財布など大事な物を入れておくために使いました。  
ところが、ほかにもう一つの<sup>つかかた</sup>使い方がありました。  
さて、それは何でしょう？ <sup>はこ</sup>箱の名前がヒントです。

<sup>さが</sup> 探そう、<sup>かん</sup> 感じよう、<sup>かんが</sup> 考えよう

これらは<sup>すべ</sup>全て<sup>きんせい</sup>近世の  
<sup>へや</sup>部屋にあります。  
<sup>いろ</sup>色を<sup>そうぞう</sup>想像してから、  
<sup>さが</sup>探してみよう。



資料名	にしぎえ <b>錦絵</b>	よこはまかつこくしょうかんしんず <b>横浜各国商館真図</b>
時代	めいじ <b>明治時代</b>	地域

めいじ がいこく ぼうえき はじ  
明治時代に外国との貿易が始まると、  
ぐんまけん きいと かいこうちよこはま ゆしゆつ  
群馬県の生糸は開港地横浜から輸出されました。

にしぎえ ころ よこはま ようす  
下の錦絵は、その頃の横浜の様子です。  
じつぶつ  
実物とちがうところが3つあります。探して○をつけましょう。



さが かん かんが  
探そう、感じよう、考えよう

かべにある大きな絵を  
見てみましょう。  
ぐんまけんとみおかし  
群馬県富岡市にある  
とみおかせいしじょう ないぶ  
「富岡製糸場」の内部を  
か  
描いた絵です。  
こうじょ  
工女たちになったつもりで、  
セリフを書いてみよう。



メモ

A large rectangular area with a solid black border and horizontal dashed lines, intended for writing notes.

発行日 2021年4月1日

**群馬県立歴史博物館**

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1

